

感染症の注意喚起

～海外旅行では“動物”に注意！！～



行楽の季節となり、連休等を利用して海外旅行に出かける方も多いようです。

海外には、日本では発生していない感染症が多くあり、中には予防接種も、治療法もなく、感染すると重篤な状態になる怖い感染症もあります。特にそれらの感染症の多くは動物由来と言われており、感染しないためには近づかないことが一番です。

渡航先の感染症の情報は外務省や厚生労働省のホームページで事前に確認しましょう。

動物由来の主な感染症をご紹介します。

(1) 鳥 <鳥インフルエンザ>

- 東南アジアを中心に、中東・ヨーロッパ・アフリカの一部地域などで発生。
- ニワトリやアヒルなどに触らない。鳥が売られている市場や養鶏場に近寄らない。
- 手洗い等の実施。



(2) 犬等 <狂犬病>

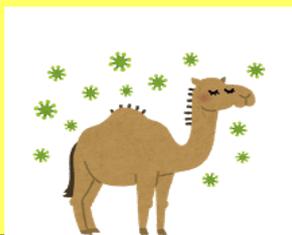
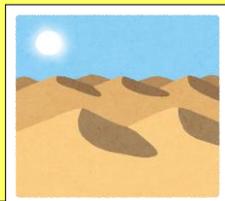
- 世界のほとんどの地域、特にアジア、アフリカ
- 北米ではアライグマ、スカンク、キツネ等、東ヨーロッパでは、キツネ、タヌキ等の野生動物に多い。・動物にむやみに近付かない。
- 事前の狂犬病ワクチンの接種が有効。
- かまれた場合はすぐに医療機関へ！



(3) ラクダ

<中東呼吸器症候群 MERS・マーズ>

- 韓国で拡散したMERSの感染元は中東のラクダです。(中東諸国：アラブ首長国連邦、サウジアラビア、イエメン、カタール等)
- ラクダに乗る、ラクダの肉を食べる、乳を飲む、近づくなどの接触は危険です！
- ラクダは近づくと唾を吐くことがあるので、石けんと水でしっかり洗いましょう。
- 中東諸国のラクダは接触しただけで、帰国時に検疫所での申告が必要です。



(4) 蚊やマダニ

- 蚊を媒介した感染症が世界的に多く報告され、特に熱帯・亜熱帯地域ではマラリア、デング熱などに注意が必要です。
- 中国や韓国においては、マダニの感染症が報告されています。
- 屋外では肌を露出しない、地面や草の上に服を置かない、虫除け剤を使用する等刺されないかまれないよう注意を！



■ 詳しい情報は渡航前に必ずチェックしましょう！

参考) 厚生労働省検疫所ホームページ

外務省 海外安全ホームページ

奈良県立医科大学海外渡航者外来ホームページ

<http://www.forth.go.jp/index.html>

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://www.geocities.jp/tara0729/>